

「慎也とともに」

美郷町もいよいよ合併5周年になりますね。そして、我息子慎也も5才になります。慎也は美郷町が合併した翌日に誕生しました。本当は、合併の日



永井 千春
(新町)

に生まれる予定だったのが、名前の通り、慎重に生まれ、翌日になりました。まさか、合併後、第一号の赤ちゃんになるとは思いませんでしたが。慎也は大きな赤ちゃんで、それからますます大きくなっていきましたが、町の健診の時、発達に遅れがあるんじゃないか、と言われました。なるほど、他の子供達は活発に動きまわり、楽しそうにお話もします。慎也は、うまく歩けないし、言葉がでてきません。つきつけられた現実に、急に頭の中が真っ白になり、いよいよの無い不安にかられました。この子はこれからどうなっていくのだろう。私達が死んでしまったらどうなってしまうのだろう。

そんな私の気持ちを救ってくれたのは、慎也の笑顔であり、保健師さん達のサポートでした。病院やサークルにも付き添っていただいたり、アドバイスをいただいたり、きめの細かい対応をしていただきました。

「子育ては親育て」とも言います。慎也の毎日の少しずつの成長が、私の気持ちを前向きにさせてくれます。以前は、できて当たり前と思って子育てをしていた自分が、とても傲慢に思えます。親は、子供から感動をもらって生きているんですね。

慎也を授かってから、子育ては一人ではできない事が今更ながらよくわかります。家族を始め、いろいろな方々のサポートがあってこそです。

私は、美郷町で子育てができ、とてもよかったと思っています。20年後の慎也には、「美郷町に生まれてよかった。この町が大好きだ。」と言ってもらいたいです。そのような町作りを、私達大人が、責任を持って行っていかなければならないと思います。

「輪」を大切に…

「仙南村」閉村一。五年前、できたばかりのリリオスで行われた閉村式が、まだ鮮明に思い出されます。

仙南村の閉村と同時に、六郷、千畑、仙南の三町村が合併してできた「美郷町」。最初の頃は耳慣れず、この名前に戸惑った人もいたことと思います。私もその中の一人でした。しかし、一年、また一年と時間が経つにつれ、美郷町の素晴らしさ、中でも友達の「輪」の広がりを肌で感じる事ができました。今、高校に在学中である私は「美郷町」のつながりで、たくさんの友達があります。そして、同じチームの「美郷町仲間」として野球をやる事ができたチームメイトもいます。

「美郷町」というつながりで、たくさんの人に巡り合い、様々な体験をすることができたことに、私は今非常に幸せを感じています。これから成長する子供たちにも、この幸せを肌で感じてもらいたいと願っています。近い将来、少子化の波から六郷中学校、千畑中学校、仙南中学校が統合し、一つの中学校となります。子供たちにとっては慣れないことだと思いますが、友達の「輪」が広がることに自分自身の「輪」を広げられるという素晴らしいことを実感してもらいたいです。

これから先も多くの手によって、たくさんの新しい「美郷町」が築き上げられ、さらに美しい故郷、「美郷町」になっていくことでしょ。私も「美郷町」を美しくする一人となれるよう頑張っていきたいと思っています。



伊藤 開
(大曲農業高校3年)

広がる輪・話・和 三つの輪が一つになり

まだまだ広がる美郷の和

美郷町は、私が小学四年生の時合併してできました。その時、総合の時間で「仙南」「六郷」そして千畑がどのような経緯で合併したのかを自分達で調べて発表したことを覚えています。その後も自分で、当時(?)全国的に合併する市町村が増えていること、合併は人口が減少していることと関係していることなどを調べた思い出があります。

思い出といえば、今年の春に行われた「美郷町中学校間交流陸上競技会」が印象的でした。学年ごと学校ごとの競技では、全校で応援するなど一致団結できた気がしました。またこれで、全校の和(輪)、美郷の和が広がったような気がしました。

しかし、まだまだ町民の和(輪)は広がると思います。だから私は、地域の方々、町の方々をもっと交流を深められるようなイベントがあればいいと思います。例えば、美郷フェスタの規模をもっと拡大するなどして、美郷町民の交流の場を増やしたいと思っています。



高階 未沙
(千畑中学校2年)

「美郷町」になって

美郷町になってから一番に残っているのは、今年の五月にあった陸上交流会です。町内の小学校の四・五・六年生と交流しました。百メートル走では他の学校のみんと走ることができてよかったです。速い人がたくさんいておどろきました。ソフトボール投げではとてもいい記録が出ました。名刺交換でもたくさんの人と仲良くなれてよかったです。

国体のことも心に残っています。自転車競技の応援をしました。すごいはく力でした。国体の前に応援の旗を作ったり、ハート&ハートリレーで走ったりしてみんなで盛り上げることができました。

ぼくたちが中学校三年生になったとき、美郷の中学校が一つになります。これまでの経験を生かして新しい中学校を盛り上げていきたいです。そして美郷町をますます発展させる立派な大人になれるようにがんばりたいです。



高橋 颯斗
(六郷東根小学校6年)

合併五周年を迎え

合併五周年おめでとうございます。私もめでたい年になりました。八十の齢を重ね体に目だった故障もなく楽しい日々を送っております本当に幸いです。我々高齢者と町政との関りについて、町政側におかれましては常に高齢者に対する医療並びに健康介護福祉等いろいろな面で大変ご苦労なされておられると思っております。そのような行政に我々高齢者が応えるには出来るだけ町政に負担のかからない年寄りになる事と思われま。それには先づ自分自身を知り護り健康である事またその健康が持続出来るよう心掛けが大切と思われま。此の年令にしてみれば100パーセント健康とは言えないが、二つか三つの悪玉菌を抱え体のどこかで小競合いながら生きている事の喜び、この有難さは自然からの享受に外ならないと思われま。現代の日本は物質的経済的の豊さと飽食によって物の有難さと感謝の心が欠如しており結果として心の貧しさを生み出しているのではないかと思っております。文学者司馬遼太郎さんの文から「昔も今も又未来においても変わらないことがある。そこに空気と水とそれに土などという自然があって人間や外の動植物更には微生物に至るまでそれに依存しつつ生きているという事である。自然こそ不変の価値なのである。人間は自然によって生かされて来た。古代でも中世でも自然こそ神々である。」これは作家司馬遼太郎さんの文である。全ったくその通りで我々は自然様から生かされている事を忘れてはならない。我々の生活の一日は朝の神様佛様に手を合せ今日一日の無事と安全を祈り夕方には今日一日の無事を報告し感謝を申し上げ一日が終るよう感謝に始まり感謝に終るという日常の心掛けが肝要と思われま。そうした心掛けが結果として地域全体の絆を深め明るい社会が生まれると思われま。我が美郷は土よし、水よし、道よし、人柄もよし、この美郷の郷が尚一層明るい楽しい住みよい素晴らしい郷になる事を希います。



佐々木 謙藏
(八卦・熊堂)